

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族などがこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族などの診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2010年1月1日 ～ 2024年11月30日の間に、骨髄異形成症候群や急性骨髄性白血病のために虎の門病院血液内科にて初回の同種造血幹細胞移植を受けられた方

【研究課題名】

骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植の有用性とその予後改善に関わる要因についての研究

【研究の目的・背景】

《目的》

当院において骨髄異形成症候群や急性骨髄性白血病のために同種造血幹細胞移植を行なった症例を集約し、その生存期間や再発率などを調査いたします。また、移植前の合併症や移植前に行った治療、ドナーソースなどの移植条件について比較し、骨髄異形成症候群に対する最適な治療方法について検討します。

《研究に至る背景》

同種造血幹細胞移植は、唯一骨髄異形成症候群の完治を望める治療法です。しかし、これまで骨髄異形成症候群に対する最適な移植前の治療方法、移植方法についてはその大部分が明らかにされていません。当院では骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植を多数実施しており、移植前の治療方法や移植条件について比較し、骨髄異形成症候群に対する最適な治療方法について調査いたします。

【研究期間】

2025年3月24日 ～ 2029年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報(年齢, 性別, 原疾患, 病型, 併存症, 病歴)、移植に関連する情報(移植時病期, ドナーソース, HLA 適合度, 前処置内容, GVHD 予防方法)、移植前後の臨床経過(移植前治療とその効果, 転帰, 再発の有無, 移植後合併症, 移植後治療)

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：血液内科 ・ 内田直之

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族などの診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族などの診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025 年 8 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・山本 久史

電話 03-3588-1111(代表)